

現役

モータースポーツ



レーシングドライバー

佐藤 琢磨 Takuma Sato



生年月日：1977年1月28日

出身地：東京都新宿区

出身校：私立和光高等学校→早稲田大学

所属：レイホール・レターマン・ラニガン・レーシング



講演

トークショー

イベント

クリニック

メディア出演

司会

解説

コラム

PROFILE

学生時代の自転車競技から一転、20歳で鈴鹿サーキットレーシングスクールに入り、モータースポーツの世界へ。主席で卒業し、渡英。英国F3で頂点を極め、2002年にF1デビューして活躍。2004年アメリカグランプリにて表彰台を獲得。2010年からは米国最高峰のインディカー・シリーズにチャレンジし、2013年ロングビーチグランプリにて日本人初優勝を成し遂げ、世界最高峰のレースと言われるF1とインディカー両方で表彰台に上がった唯一の日本人ドライバーとなる。更に2017年は世界三大レースの1つと言われるインディ 500で優勝を果たし、内閣総理大臣顕彰をはじめ多くの賞を受賞。2019年はインディカー・シリーズに挑戦して初めてシーズン2勝を飾ると共に、市街地コース、ロードコース、ショートオーバル、スーパースピードウェイという、インディカーで開催される4つの異なるタイプのコース全てで勝利を挙げたエリートドライバー（現役ではわずか5人）の仲間入りを果たした。2020年には2度目となるインディ500のチャンピオンとなり、インディカーシリーズ通算6勝を収める。2024年はレイホール・レターマン・ラニガン・レーシングからインディ 500に参戦予定。現役レーシングドライバーとして活動を続けながら、更にホンダ・レーシング（HRC）のエグゼクティブアドバイザーに就任し、HRCが取り組むレース活動を幅広くサポートしていくことになり、大きな期待が寄せられている。なお、2019年より務めているHonda Racing School Suzuka（旧：鈴鹿サーキットレーシングスクール）のKart、Formulaのプリンシパルとして、引き続き次世代の育成にも力を入れていく。